

会社案内

フィオラノ ソフトウェア 株式会社

Fiorano[®]
Enabling change at the speed of thought[®]

この資料は、情報提供を目的としたものであり、提供している情報内容は記述時点でのありのままを述べたものです。この資料は資料の販売を目的としたものでもなく、また、弊社製品に対し特定の目的への適合性など、いかなる保証を与えるものでもありません。

弊社は、この資料の内容について、正確性および完全性の保証をするものではありません。弊社は、この資料に記載されている情報およびその翻訳の誤記、脱落または不十分性について責任を負いません。

弊社は、予告なくこの資料に記載されている内容および意見を変更することがあります。

この資料の内容は、書面による事前の許可なくいかなる形態においても複製を作成することを禁止されています。Entire contents © Fiorano Software Kabushiki Kaisha All rights reserved.

この資料に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

商号	フィオラノ ソフトウェア株式会社 (英語表記: Fiorano Software Kabushiki Kaisha)
設立	2009年 1月
所在地	<p>本社 〒107-0061 東京都港区北青山 3-6-7 青山パラシオタワー 11階</p> <p>山王オフィス 〒100-6162 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー 3階</p>
株主	Fiorano Software Pte. Ltd (シンガポール). 100% 出資
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特定の業界にこだわらず、あらゆる業種のユーザーに、直接販売およびパートナー を通じての製品販売およびサポートを提供いたします。 2. パートナー企業と密接に連携し、コンサルティングから導入サポートまでユーザー ニーズに確実に応えうるプロフェッショナル サービスを提供いたします。 3. パートナーの製品や得意分野とを組み合わせた新たなソリューションをユーザーに提供いたします。
役員	<p>取締役 青島 茂 Atul Saini (アトゥール サイニ) Christopher Combs (クリストファー コームズ)</p> <p>監査役 Rashmi Jain (ラシュミ ジェイン)</p>

Global Leaders Choose Fiorano

Fiorano
Enabling change at the speed of thought*



Federal Aviation Administration



vodafone



ECOLE HOTELIERE LAUSANNE
Since 1893

DeVry University



Clear Channel



TAKATA



UB GROUP



Explore the breadth of wireless solutions



L'ORÉAL



The Gartner logo is displayed in a large, bold, blue font.

連携プラットフォーム分野の Magic Quadrant において 11年間ビジョナリに位置づけられています。

“Fiorano facilitated peer-to-peer architecture makes it well-suited for the integration of real-time systems and specialized use cases for integrating devices from the IoT.”

“Fiorano offers a unique and highly productive interface development process. The graphical specification is exactly what is executed, which makes it usable for developers who are not integration specialists.”



“The secret to Fiorano’s productivity was a critical architectural decision that differentiated their ESB in fundamental ways.”

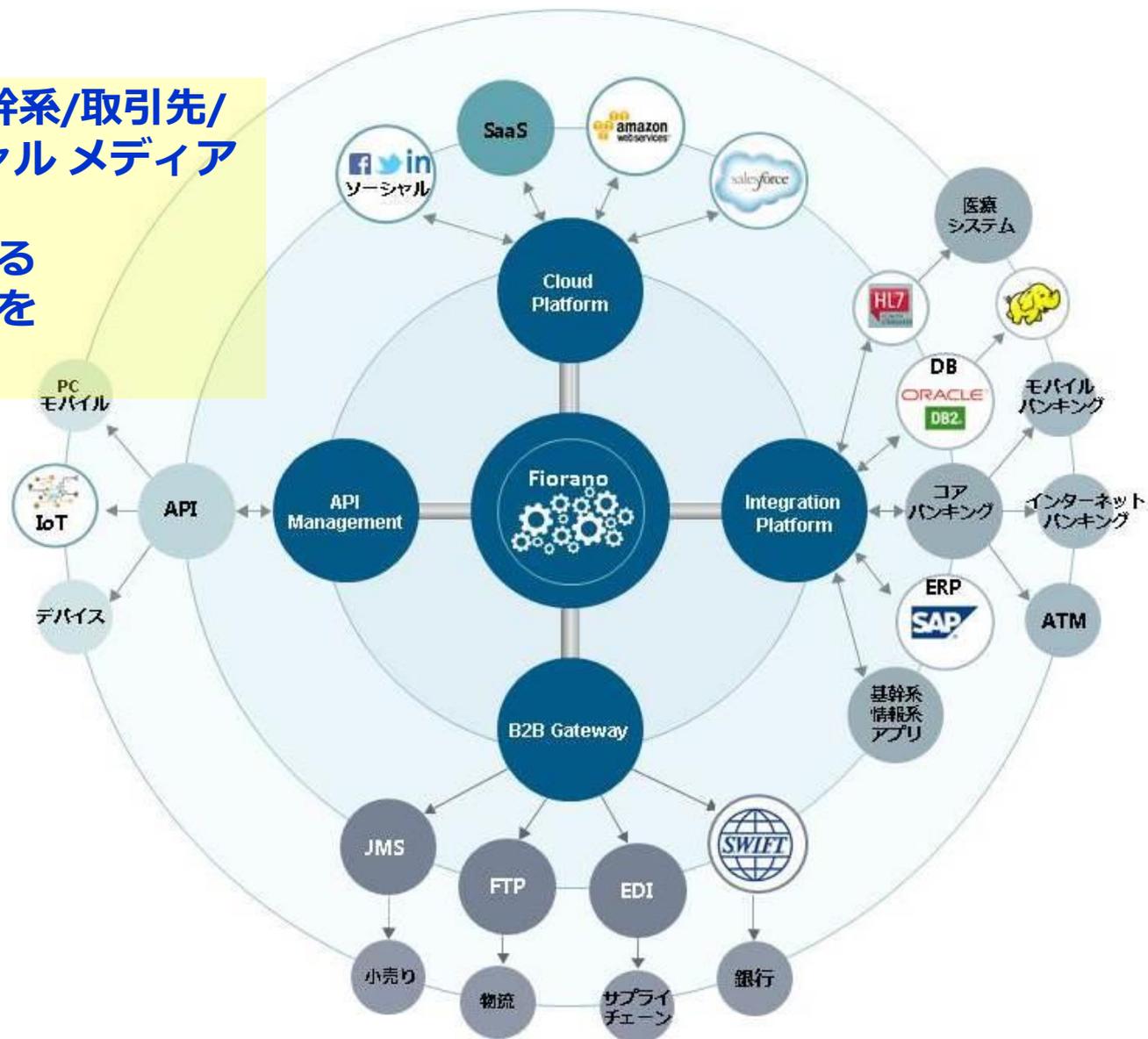


“Fiorano Platform is a one-stop solution for a wide range of integration requirements: on-premise to cloud, cloud to cloud, intra-cloud, and B2B integration”

What we do

"モバイル/IoT/SaaS/基幹系/取引先/
ビッグデータ/ソーシャルメディア
など"

あらゆるモノを連携する
という最も困難な課題を
解決します。



- **ビジネスのデジタル化に必要なインテグレーション要件の定義**
クラウド、モバイル、ビジネスデータ/ビッグデータ
- **オンプレミス - クラウド - ソーシャル環境 - モバイル 間の相互接続**
ハイブリッド インテグレーション
- **企業エコシステム全体にわたるリアルタイムなインターオペラビリティ**
デジタル ビジネスに適した即応性
- **ライトウェイトでセルフサービスの的に実施できるアプリケーションおよびデータのインテグレーション**
“citizen integration”
- **取引先パートナーとの間のインテグレーション要求の増加、拡充**
- **短期間なインテグレーション実現とアジリティの確保**
柔軟性、適用性、アウェアネス、生産性
- **コスト削減 (インテグレーション実現の期間と費用の両面)**

- リアルタイム ビジネスのための REST 対応プラットフォーム
- モデルがそのままプログラミングを要せず稼働するビジネスプロセス
- “マイクロ サービス” アーキテクチャに基づく
ESB (エンタープライズ サービス バス)
- API ベースのインターオペラビリティ
- 他に類をみないインテグレーションプロジェクトの短期化
- ライトウェイトでセルフサービスの的に実施できるアプリケーションおよびビジネスデータのインテグレーション

製品ポートフォリオ

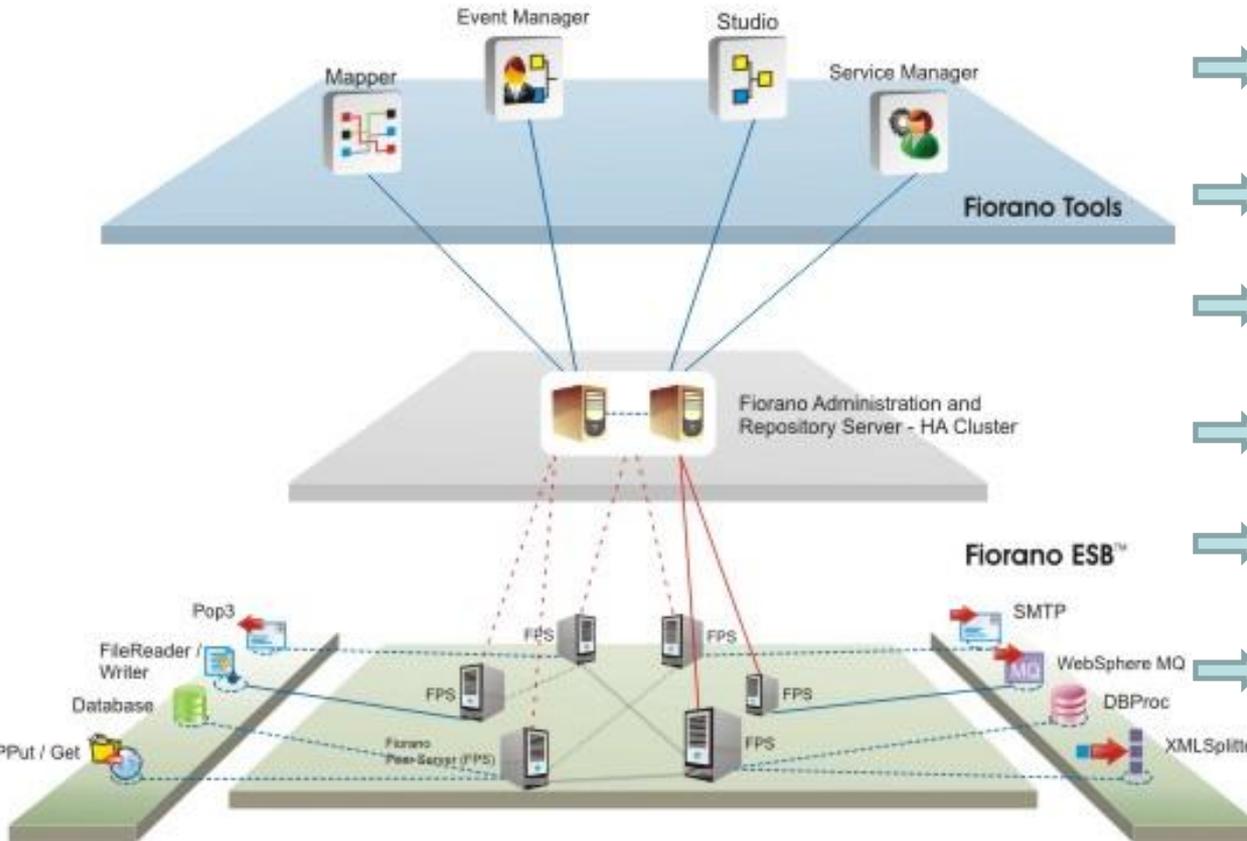
- **Fiorano Integration Platform**
(メッセージングバス: Fiorano ESB + プリビルト マイクロ サービス)
 - Fiorano SOA Platform
 - Fiorano Cloud Platform
- **Fiorano B2B ゲートウェイ**
- **Fiorano API Management Platform** (API ゲートウェイ)
- **FioranoMQ[®]** (メッセージング ミドルウェア)
- **Fiorano MQTT** (IoT/M2M ブローカー サーバー)

Fiorano Integration Platform は、

- SOA (サービス指向アーキテクチャ) に基づくサービス連携
- EAI (アプリケーション連携)
- B2B (電子商取引)
- BPM (ビジネスプロセス管理)
- ETL (extract(抽出)、transform(変換)、load(書き出し))
- クラウド連携プラットフォーム
- 医療システム連携、医療データ交換

など、多様なインテグレーションプロジェクトの基盤として機能します。

The Fiorano Integration Platform

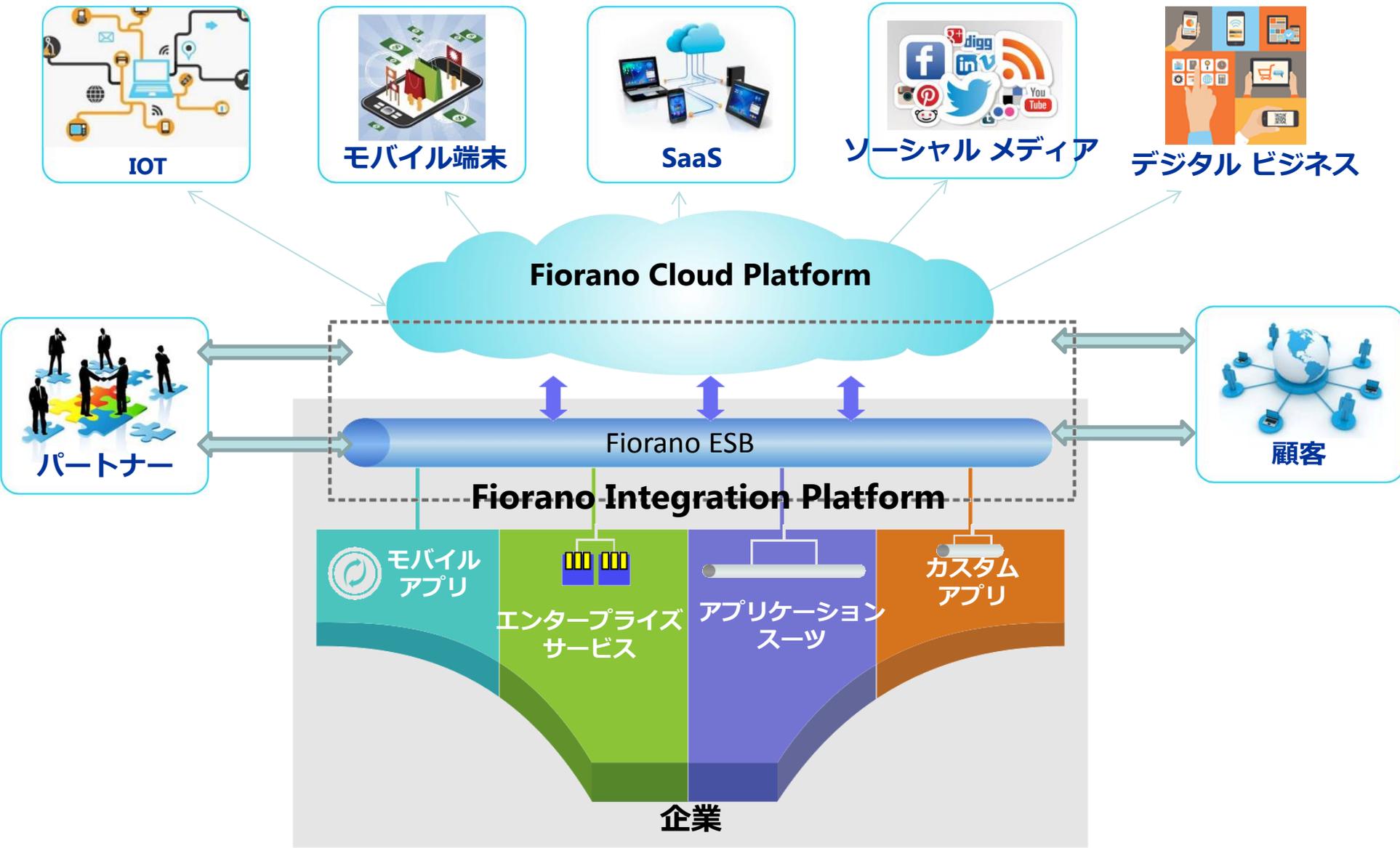


Fiorano のアーキテクチャ

- ⇒ 分散処理
- ⇒ ドキュメント セントリック
- ⇒ イベント駆動
- ⇒ 疎結合
- ⇒ 非同期
- ⇒ メッセージ ドリブン

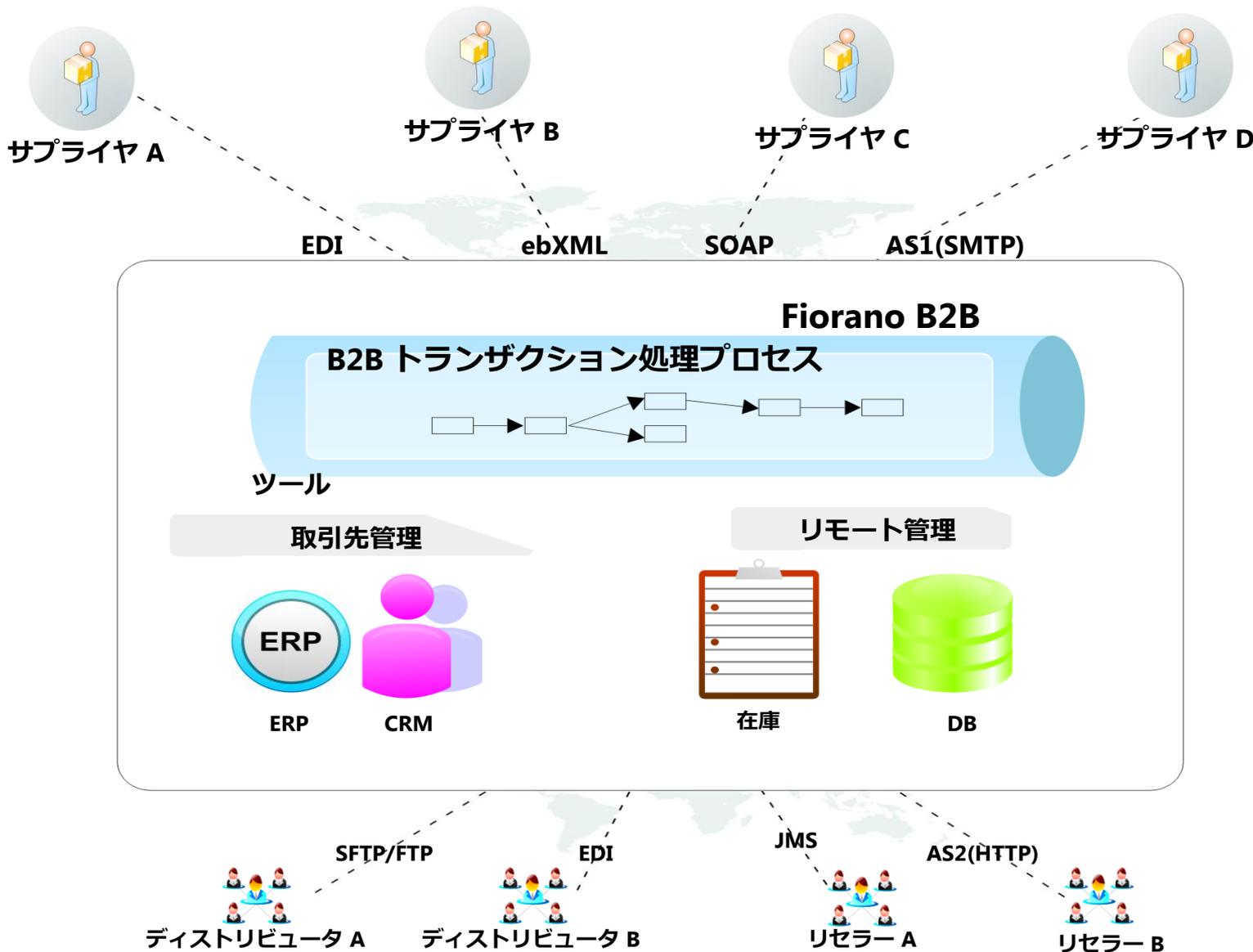
サービスのコレオグラフィ

ハイブリッドなインテグレーション



- **デジタル ビジネスの要求に応え得るインテグレーション：
クラウド、モバイル、ソーシャル、ビジネス データ/ビッグデータ**
- **オンプレミスの IT 資産 (サービスおよび情報) に対する
API ゲートウェイ**
- **バリューチェーンのエコシステムに対応する柔軟なスケーラビリティ**
- **エコシステム全体に亘るリアルタイムなインターオペラビリティ**
- **デジタル ビジネスに必須な超高速レスポンス タイム**
- **ライトウェイトでセルフサービスの的に実施できるアプリケーションおよびデータのインテグレーション -- “citizen integration”**
- **B2B インテグレーションのモダナイゼーションと拡張**

- **Fiorano B2B™ : エンタープライズレベルの B2B ゲートウェイ**
取引先、ディストリビュータ、銀行、原材料納入業者、購買者とのワールドワイドな電子取引
- **Fiorano ESB 上で稼働**
スケーラビリティ、分散実行に優れたピア・ツー・ピア アーキテクチャ



● API ゲートウェイ

企業のバックエンド データ リソースに携帯アプリなどから外部アクセスする場合に、Fiorano API Management Platform はセキュアなゲートウェイとして機能します。

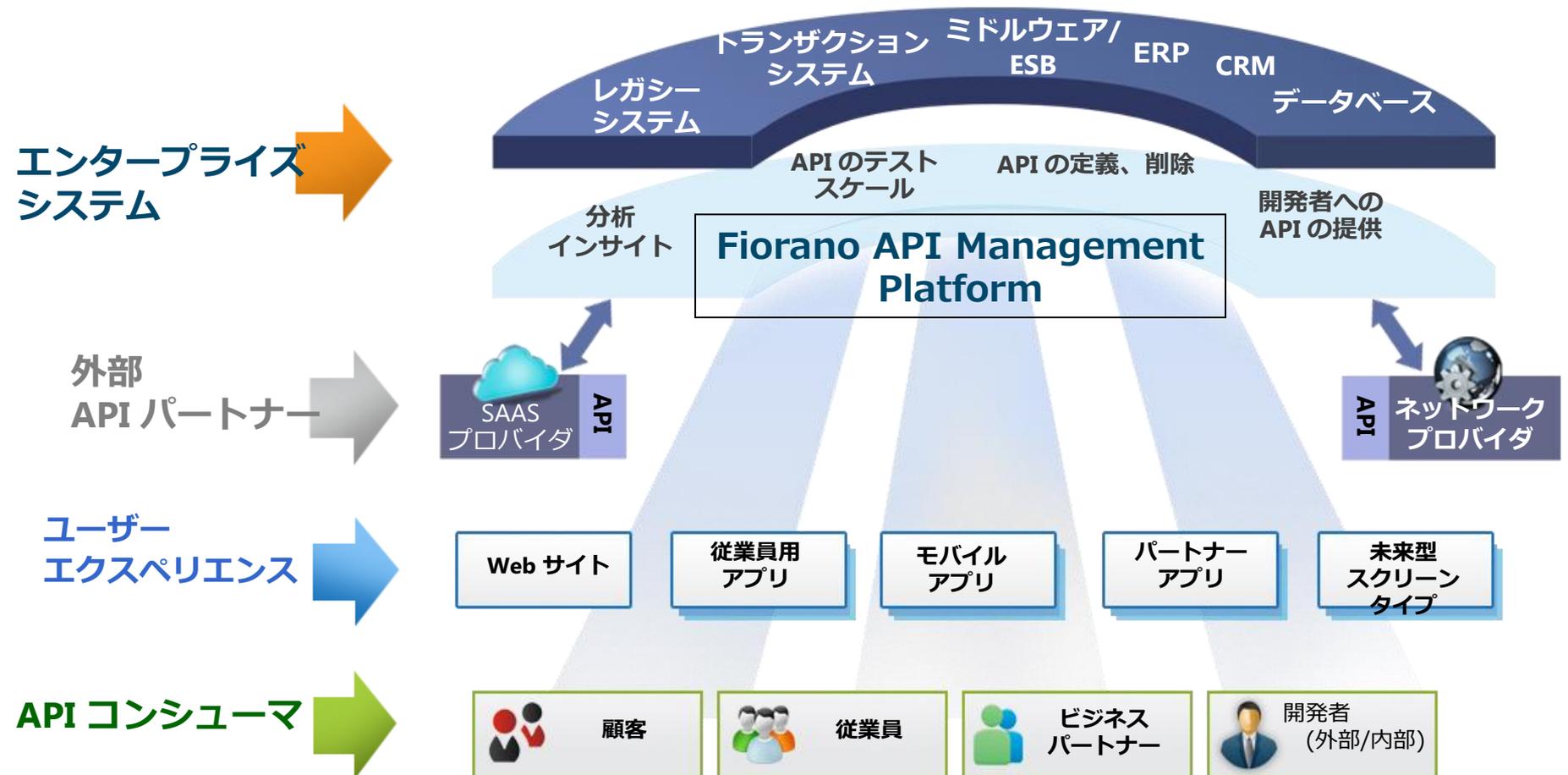
- ESB や SOA プラットフォーム製品とのシームレスな連携
- バックエンド サービスをインボークする API プロキシの生成などのプロビジョニング
- SOAP および REST に対応した API のノンプログラミングな構築
- OAuth などの最新技術によるユーザー認証
- SOAP ベース API に対する WS-Security に準拠したセキュリティ制御
- REST ベース API に対する HTTP セキュリティ制御

● API 管理とビジネス分析 (インサイト機能)

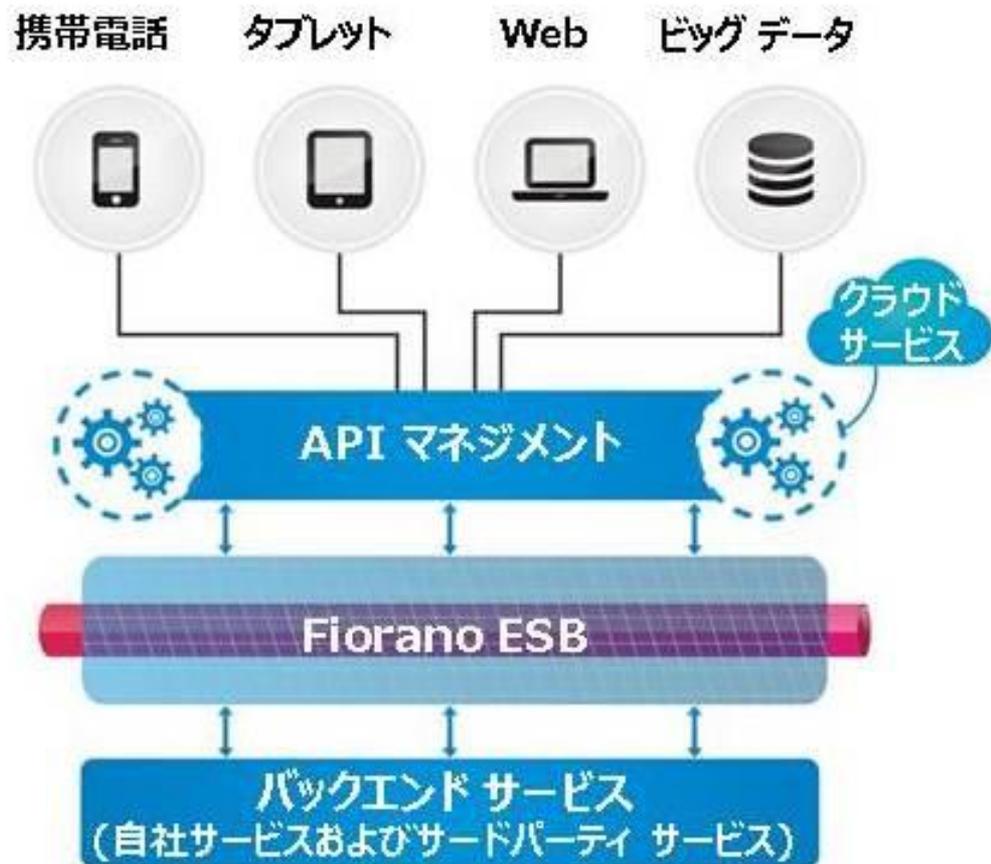
- API ポリシー定義とポリシーに基づく管理
- API およびアプリの利用状況分析
- API 呼び出しの追跡および問題点調査/解析用のテスト ベッド

● API ソーシャル化のためのポータル サイト構築

Fiorano API Management



“デジタル化されたビジネス” への移行



バックエンド システムへモバイル アプリからアクセスする手段の提供

API にフォーカスしたアプローチ

「Nexus of Forces」：
“ソーシャル”, “モバイル”, “クラウド”,
“ビジネスデータ” の力の結束

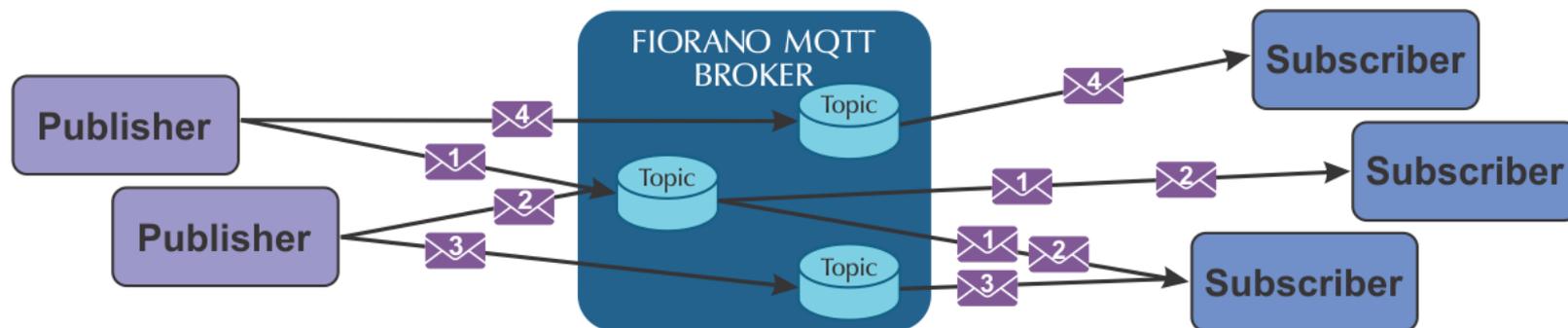
顧客セントリック：
顧客の多様なリクエストに応える

SOA (サービス指向アーキテクチャ)
の利点を活かしたアプローチによるコ
ア システムの外部化

- Fiorano MQTT は最新バージョンの 3.1.1 に完全に準拠し、全機能を使用できます。
- MQTT (MQ Telemetry Transport) は、ライトウェイトなメッセージングプロトコルで、パブリッシュ/サブスクライブ 型のメッセージ交換をリモートのデバイスやセンサーとの間でおこないます。
- MQTT は、低帯域な通信やネットワーク状態が不安定な場合を想定しており、メモリなどのリソースに制限のあるデバイスやセンサーに適した軽量プロトコルです。
- そのライトウェイトなプロトコルによって
 - IoT
 - M2M (Machin-to-Machine)
 - WSN (ワイヤレス センサー ネットワーク)に適しています。

Fiorano MQTT は、2個のサブコンポーネントから構成されています。

- Fiorano MQTT Broker
- Fiorano MQTT Client

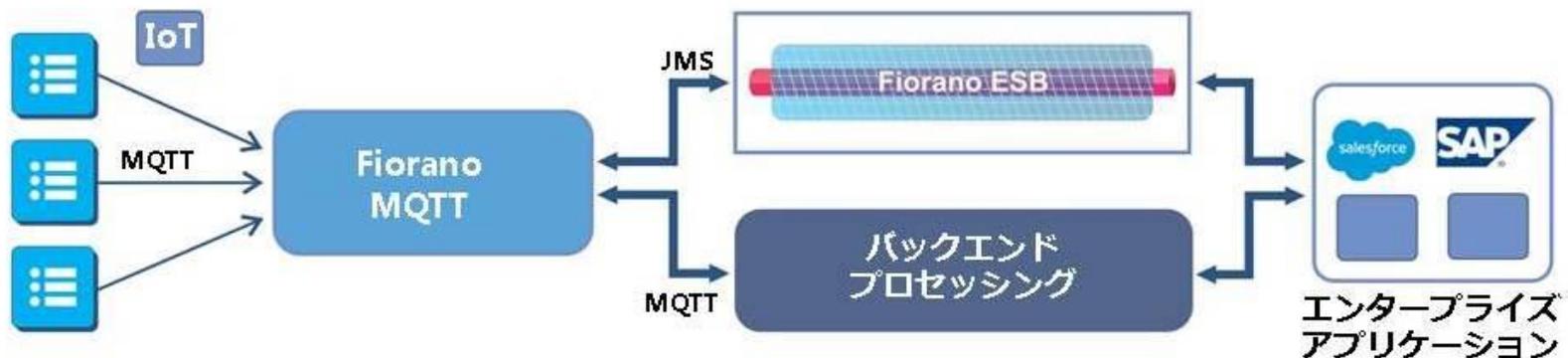


- Fiorano MQTT ブローカは、MQTT 3.1.1 に完全準拠し、JMS (Java メッセージ サービス) サーバー (FioranoMQ) に組み込まれています。
- Fiorano MQTT のトピックは、JMS (FioranoMQ) のトピックと共有化でき、MQTT のパブリッシャからのメッセージを JMS のサブスクライバが受け取ることができます (自動的にメッセージが変換されます)。逆も可能です。
- このメッセージ変換は、MQTT メッセージ ↔ JMS バイト メッセージ に自動的に変換されます。

IoT

(デバイス/センサーとバックエンド アプリとの間のメッセージング ブローカー)

1. 数千のデバイス/センサーからのデータ (メッセージ) を Fiorano MQTT が受け取ります。
2. その後、MQTT ベースもしくは JMS ベースのバックエンド処理プロセス (サブスクライバ) にデータを配信します。
3. Fiorano MQTT は、Fiorano ESB を介して ERP、PLM、MES、CRM などのエンタープライズ アプリケーションやビッグデータ処理システムにデバイス/センサーのデータを配信することも可能です。

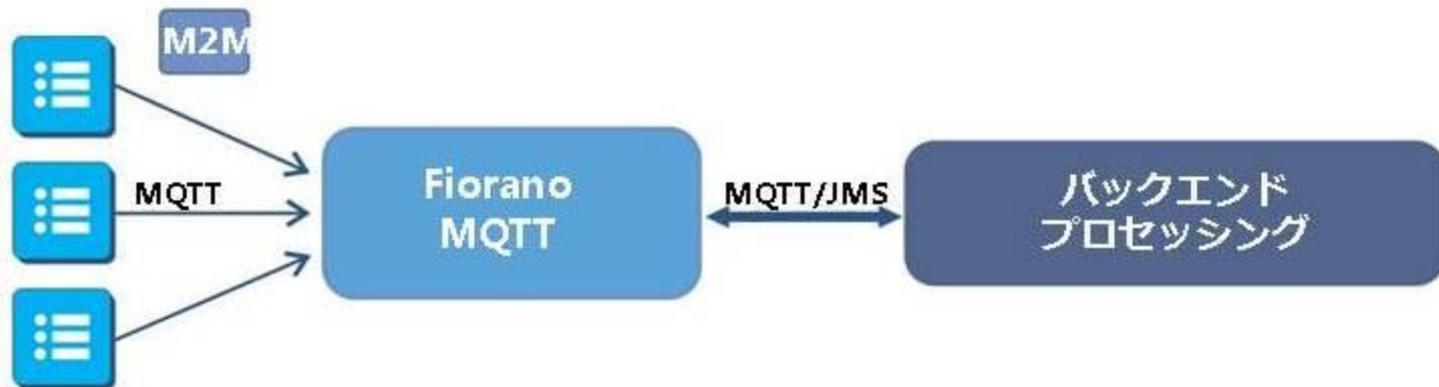


M2M

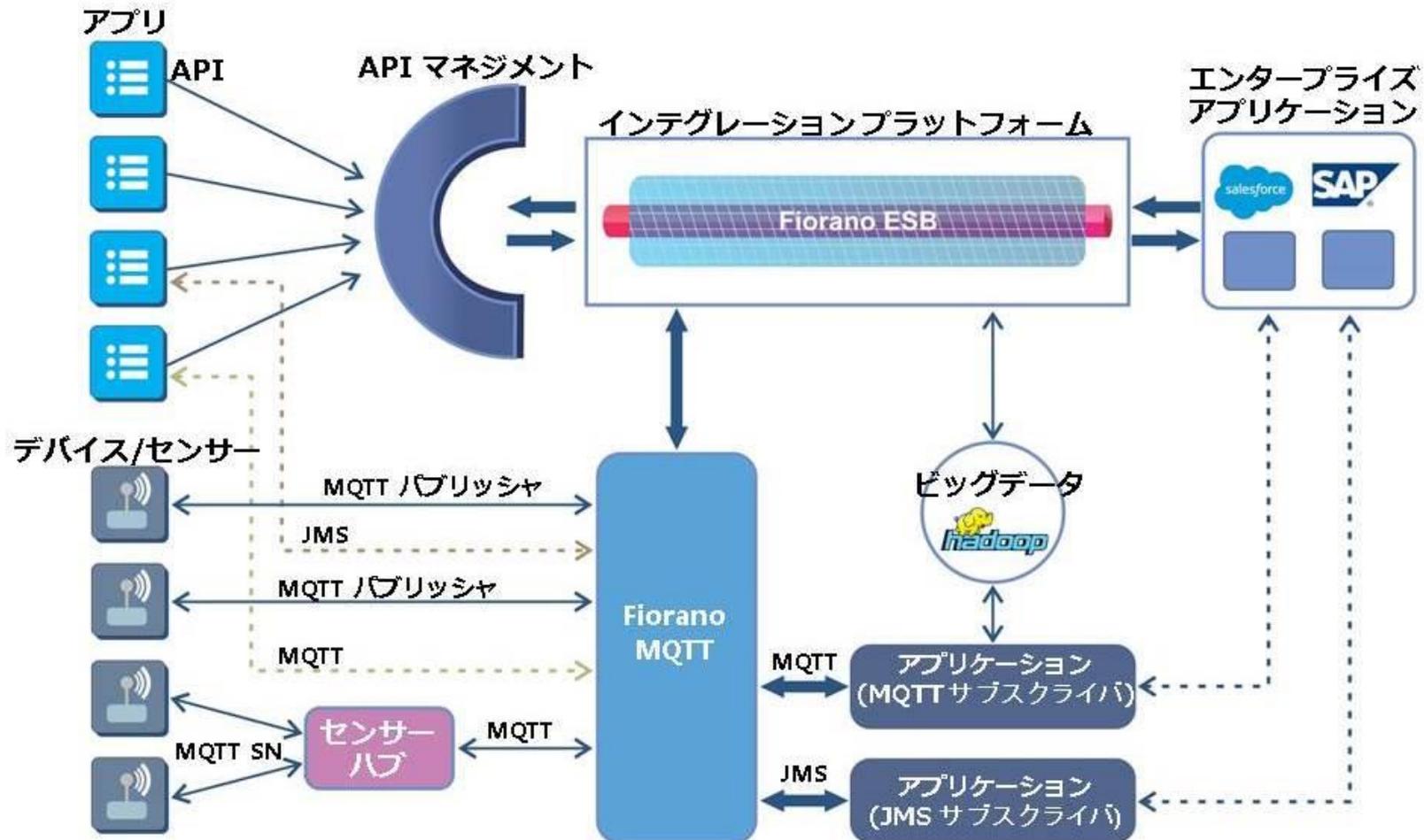
(Machine to Machine のメッセージング ブローカー/ハブおよびバックエンド処理によるメデイエーション)

Fiorano MQTT は、M2M (Machine to Machine) のリアルタイムなメッセージング ブローカーと機能します。

バックエンド処理アプリケーション (サブスクライバ) をデータ マッピング、コード変換、暗号化/復号化などのメデイエーション機能を果たすものとしてデバイス間のデータ交換に介在させることも可能です。



Fiorano MQTT は、Fiorano ESB および Fiorano API Management と組み合わせて用いることで企業内外のあらゆるアプリケーションを連携することが可能となります。



Fiorano がビジネスにもたらす価値

- IT の複雑さを軽減します。
- リスクとコストを低減します。
- システムの本番化への期間を大幅に削減します。

- **ベンダーや製品に依存しない連携プラットフォーム**
ヘテロジーニアスな異機種環境で稼働し、あらゆるアプリケーションとの連携が可能です。
- **既存システムの活用 (非 rip-and-replace)**
既存システムを破棄したり他のシステムで置き換えるのではなく、そのまま再利用することが可能です。
- **スケーラビリティ**
スモールスタートできます。段階的に連携する範囲や連携するアプリケーションを拡張していくことができるスケーラビリティに優れたアーキテクチャを採用しています。

- **標準規格に基づくフレームワーク**
自社の特性や技術に適した標準規格を選択でき、ベンダーロックインなどによるリスクを低減できます。
- **開発コストの低減**
ベンダー独自の技術を新たに学ぶ必要がなく、既に有している技術スキルを活用できます。
- **新技術に適応可能なインフラ**
新たな技術や標準規格を導入することが可能なインフラを構築できます。
- **新規アプリケーション開発のスピードアップ**
既存のサービスを組み合わせることで新たなアプリケーションを構築するコンポジットアプリケーション機能を有しています。

- **プロジェクト遅延要因の低減**
ビジュアルな連携図が IT 部門とビジネス現場との間のコミュニケーションギャップを防ぎます。
- **新規アプリケーションデプロイメントの迅速化**
既存サービスを再利用するコンポジットアプリケーション機能によってアプリケーションのデプロイメントまでの時間を大幅に短縮できます。

- **業務プロセスの自動化**
稼働環境が異なる様々なアプリケーションを連携し、業務プロセスを自動化します。
- **リアルタイム化**
各アプリケーションが必要とする情報をリアルタイムに提供でき、業務プロセスのリアルタイム化が可能となります。
- **IT部門ではなくビジネス部門が定義する業務プロセス**
ビジネス部門のユーザーが業務プロセスを定義できます。
 - IT エンジニアの工数を低減します。

- **ビジネスデータの有効活用**

様々なアプリケーションが有する最新ビジネスデータをリアルタイムに統合し、意思決定に不可欠なデータを提供します。

- **IT 部門への依存、労力の低減**

IT 部門への依頼を最低限に抑え、ビジネスユーザーが業務プロセスを実装可能です。ビジネスデータの処理にプログラマーを必要としません。

- **ビジネス環境に対するアジャイルな対応**

ビジネス環境の変化に、新たな S/W や H/W および開発プロジェクトを必要とせずに、アジャイルに対応できるようになります。

課題

企業内の各部門、施設に分散している各種アプリケーションのビジネスデータを包括的かつリアルタイムに扱えない

現象

- リアルタイムな情報の欠落による重要な経営施策の遅れ、失敗
- 長いターンアラウンドタイム
- 顧客へのサービスの遅れ、非効率
- 業務処理プロセスの変更が複雑
- 自動化されたシステム、ヒューマン処理系およびそれらの効率性に関わるインサイト情報の欠如

- **効果的で容易な業務プロセスのモニタリング**
 - リアルタイムな情報の欠落による重要な経営施策の遅れがなくなります。
 - ターンランドタイムの短縮、業務プロセスの自動化によって、顧客への迅速で効率的なサービスが可能になります。
 - エラーの低減によって、サービス品質を向上できます。
 - 競合他社との差別化が図れます。

- **これらの利点は新たな H/W や S/W を追加することなく得ることができます。**

	課題 (Fiorano導入前)	Fiorano による効果
1	リアルタイムで包括的なビジネスデータの欠落	各アプリケーションにまたがる重要なビジネスデータがリアルタイムで得られる
2	業務プロセスが非効率でクリティカルな状況に対するアラートが遅れる	リアルタイムでアラートが発せられ、顧客の満足度が向上する
3	ターンアラウンドタイムが長い	競合他社との優位性、マーケットシェアが向上する
4	顧客への非効率なサービス提供	サービス提供の向上により、他社との差別化が可能となる
5	業務プロセスが硬直化して変更が難しい	わずかなプログラミングで（あるいはプログラミング無しで）業務プロセスの変更が容易に行える
6	業務プロセスのモニタリングと分析が難しい	効果的なモニタリングが可能となる

リアルタイム ビジネスへの変革が必要ですか？

Fiorano によるリアルタイム化によって得られる利点

- ✓ 高い処理性能 (ピア・ツー・ピア アーキテクチャ)
- ✓ 標準規格の準拠 (実証されているインターオペラリティ)
- ✓ 包括的 (バックエンドからフロントエンドまで)
- ✓ リアルタイム性 (即時に得られるビジネス データ)
- ✓ ビジネス ユーザー向け (構築、使用が容易)
- ✓ 低コスト (構築、変更、運用)
- ✓ 今すぐ利用開始できます。

Thank You !

フィオラノ ソフトウェア 株式会社

東京都港区北青山 3-6-7青山パラシオタワー 11階

山王オフィス

電話 : 03-6205-3302

メール : info_jp@fiorano.com

〒100-6162

東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー 3 階

Web サイト <http://www.fiorano.jp/>